



2026年4月2日

## 「春の踏切事故防止キャンペーン」を実施します！

JR北海道では、踏切事故を防止するため、令和8年春の全国交通安全運動の実施にあわせ、4月6日から「春の踏切事故防止キャンペーン」を実施します。キャンペーン期間中は、踏切や駅コンコースで「踏切手前では早めのブレーキで確実な一旦停止」や「万が一踏切内に閉じこめられた場合そのまま車を進めてまず脱出する」などを呼びかけます。これからの時期は、子供たちの外遊びが増えることから子供たちの線路立入りや置石の禁止を小学校などにも啓発資材を配布し呼びかけます。



踏切道での啓発



駅コンコースでの啓発



デジタルサイネージで啓発

### 《踏切キャンペーンの様子》

#### ■実施期間

2026年4月6日(月)から4月15日(水)までの10日間

#### ■実施内容

- ・ 駅構内でのデジタルサイネージ等による踏切事故防止の呼びかけ
- ・ 踏切等でのリーフレット、ポケットティッシュ配布
- ・ 列車内での車内放送や特急列車の客室内情報表示装置での呼びかけ
- ・ ラジオ放送による踏切キャンペーンの告知とCMによる踏切事故防止の呼びかけ
- ・ 道内のガソリンスタンド(41箇所)及び駅レンタカー営業所(9箇所)をご利用になるドライバーへの呼びかけ(ポケットティッシュ配布)
- ・ 小中学校等に訪問しポスター・リーフレット等の配布による呼びかけ

#### ＜昨年度踏切事故の概況＞

2025年度におけるJR北海道の踏切事故は3件発生し、前年度と比較すると1件減少しているものの、毎年発生しています。特徴としては前年度同様「冬型」の事故が大半を占め、内容は車が凍結路面でスリップし踏切内で止まり切れず列車と衝突したものでした。そのほか、送電障害も前年度同様4件発生しています。原因はダンプカーの荷台の下げ忘れや荷台積載物の高さ制限オーバーで踏切に進入し、架線を切断したことによるものでした。踏切事故には至っていませんが、警報機が鳴り始めてからの車両の直前横断や立ち往生、非常ボタンの動作などで列車が緊急停止した件数については482件でした。